

# 高校生PJ「たかす探究部」 第1回

**日時** 令和7年6月22日(日) 9時45分～11時45分

**会場** 鷹栖地区住民センターふらっと 多目的活動室1

**参加者** 7名 (高校生3名、教育委員会職員2名、慶応義塾大学生1名、旭川大学生1名)

## 内容

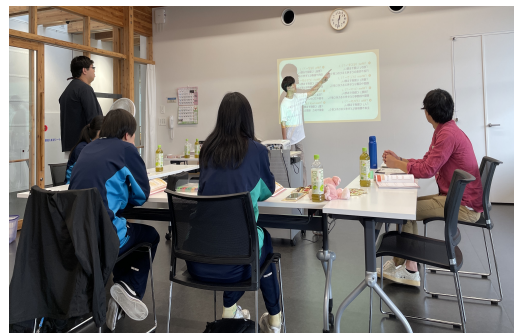
今年も、「鷹栖町高校生プロジェクト」(たかす探究部)がはじまりました。今回は町内在住・鷹栖高校在学学生に関わらず、町外からも募集。第1回は、申込してくれた高校生5名のうち、鷹栖高校へ在学中の3名が参加してくれました。自己紹介のあと、町教育委員会から本事業を立ち上げた経緯やコンセプトを説明した後、さっそく慶応義塾大学と旭川大学の学生2名による講座がスタート。

今日の目標は、「自分を知ること」。めだか教育デザイン作成の教科書の中の、「自分分析 part1 (ジョハリの窓)」に取り組みました。ジョハリの窓というのは、自己分析と他者からのフィードバックを通じ、自己理解を深めるためのフレームワークで、「自分が知っている／知らない」「他人が知っている／知らない」ことを書き込んでいきました。高校生は講師からの質問等によって、自分だけでは引き出せなかった自分のことについて、深掘りして再発見することができていました。

休憩後は、「自分分析 part2 (+-×÷ワーク)」を実施。自分自身のプラス=長所・マイナス=短所・かける=モチベーション(やる気)・わる=こだわりについて、考えました。こちらも、最初は枠いっぱいを書くことが難しそうでしたが、講師からの助言により自分を改めて見つめなおして記入していました。最後は、「問い」を問う」という難しい探求に挑戦。「問い」=「？」がつくすべてで、①「もどる」(過去や物事の根本)②「とまる」(現在や課題の現状)③「すすむ」(未来や理想)と「6W2H」を組み合わせて、自分の興味のあるテーマについて、たくさんの「問い」を考えました。これまでの探求で自分がどんなことに興味があるのか振り返り、高校生は悩みながらも自分だけの「問い」を考えて、第1回の探究活動を終わりました。次回はオンラインで開催予定です。



自己紹介の様子



活動の様子

## 成果と課題

今日参加してくれた高校生は、学年は違えど、みなさん鷹栖高校在学学生であり、また講師とも面識があったため、初めから和気あいあいとした雰囲気での探究活動が進んでいきました。

今回は探究活動の初回ということで、自分のことを知ることを目標に活動しましたが、今後高校生のやりたいことについて、私たち大人がサポートし、展開していけたらと考えています。